

ブルーベリー・ハスカップ アロニア・いちご その他のベリー

小果樹は、ポリフェノールなどの機能性成分が豊富であることや、健康志向の高まりを受けてニーズが増えていることなどを背景として、主要なくだもの生産地にとどまらず各地に栽培が広がっています。ブルーベリー、ハスカップ、アロニアなどを柱に、その他のベリーとしてラズベリー、カシス、シーベリー、ブラックベリー、グズベリーなどの栽培がみられます。いちごは、露地栽培に加えてハウス栽培も道内各地で取り組まれています。

ブルーベリー

ツツジ科のスノキ属の果樹で、果実が青紫色になることからブルーベリーと呼ばれています。北半球の各地でたくさんの種類がみられますが、大きく分けると、ハイブッシュ系、ラビットアイ系、野生種があり、北海道では主に寒冷地向きのハイブッシュ系が栽培されています。

【収穫】主な収穫期は7月下旬～9月中旬。



ウエイマウス



ランコカス

(画像提供: 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 農業研究本部 中央農業試験場作物開発部作物グループ)

その他のベリー

「……ベリー」と名前のつく小果樹はたくさんありますが、寒さに強いものが多いため、北海道の各地で栽培が取り組まれています。主なものとして、バラ科キイチゴ属のラズベリーやブラックベリー、グミ科のシーベリー、ユキノシタ科スグリ属のグズベリーやカシス(ブラックカラント)、カリズ(レッドカラント)などがあります。

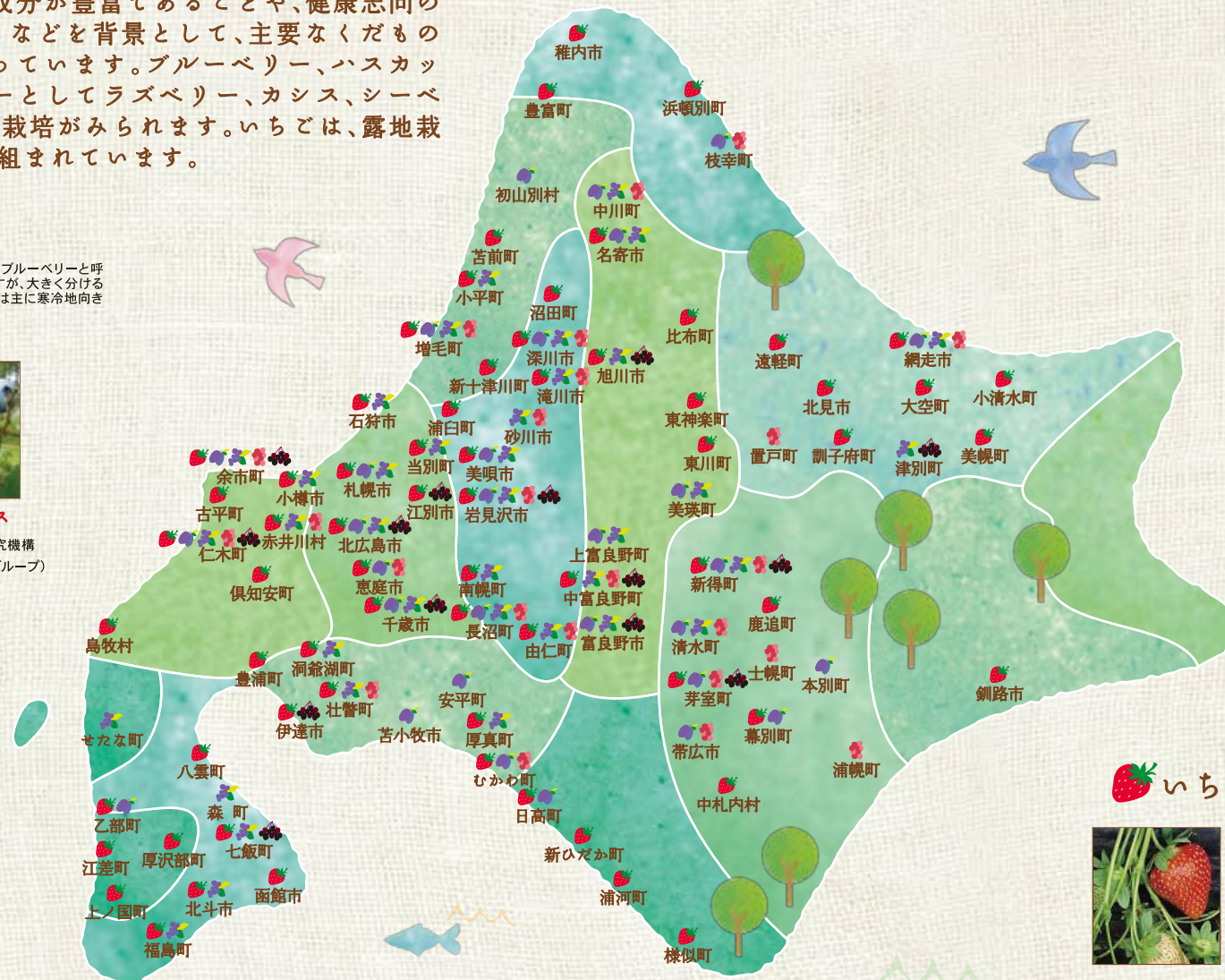


ラズベリー



シーベリー

(画像提供: 仁木町・ベリーベリーファーム上田)



ハスカップ

スイカズラ科スイカズラ属の果樹で、正式には「クロミノウグイスカグラ」という名称です。北海道に自生する小果樹で、在来種が主に栽培されています。

【収穫】主な収穫期は6月～7月ごろ。



アロニア

北米原産のバラ科アロニア属の果樹です。その姿から「黒い実のナナカマド」とも呼ばれます。品種は、早生のロシア種、晩生の北米種の2種類がありますが、北海道では、ロシア種が主に栽培されています。

【収穫】主な収穫期は9月ごろ。



(画像提供: 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 農業研究本部 中央農業試験場作物開発部作物グループ)

いちご



けんたろう

【特徴】

北海道で開発された道産子イチゴ。果実はあざやかな赤い色で食べやすい大きさ。甘さがありすっぱさは少なく、日持ちが良いのも特徴です。



宝交早生

【特徴】

果実はやわらかめ。甘さとすっぱさのバランスが良く、ジュシーです。ジャムなどの加工用にも適しています。



きたのさち

【特徴】

中粒タイプの品種で、果実はあざやかな赤色。さっぱりとした甘さとすっぱさとのバランスの良さが特徴です。



さがほのか

【特徴】

果実はやや大きめで、歯ごたえもやや硬め。すっぱさが少なく、スッパリとした甘さが特徴です。

※このほか、きたえくぼ、なつじろう、とちおとめ、とよのか、さちのか、サマーベリーなどがあります(いちごの収穫期は、露地栽培・ハウス栽培の方式や、地域差などによる違いが大きいため割愛いたしました)。

(画像提供: 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 農業研究本部 花・野菜技術センター研究部花き野菜グループ)

くだもの豆知識

くだもの糖度とは…

糖度とは、食べ物の甘さの度合いを、ショ糖(砂糖)の量で示したものです。りんごの糖度が15度なら、果汁100g中にショ糖が15g含まれていることを表します。「りんご13～15度」「ぶどう17度」など、品目ごとに「甘い」とされる数値を目にするもありますが、食べたときに感じる甘みは糖度だけではなく、酸味とのバランス、温度、食感などにも影響されます。糖度はあくまでも一つの目安として受け止めるのがよさそうです。